

快適商空間の進化



宮崎 建男 (みやざき たてお)

富士電機リテイルシステムズ株式会社
取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

当社が現在の「富士電機リテイルシステムズ株式会社」に社名を変え、新たな出発をして約3年が経過しました。この間、「快適商空間の創造」をキャッチフレーズに、お客様に最大の満足をいただける製品のご提供に邁進してまいりました。

当社の事業は大別すると、自動化機器分野、コールドチェーン分野、そして通貨処理機器分野です。すべての分野を通じて、当社は省エネルギー、省資源、環境保護、災害救援などの社会的要請に応える製品・技術の開発に注力してまいりました。

自動化機器分野の主力は業界トップシェアを持つ自動販売機ですが、この市場の成熟度を見れば今後量的に大きな伸びを期待することはできません。私どもは、品質・機能・価格のいずれをとっても最高と認めていただける自動販売機を提供し続けることをもって、この市場における地位を一層強固にしていきたいと考えております。これまでも最先端を走ってきた省エネルギー技術と、脱フロンで最も安全かつ環境負荷が極小のCO₂冷却ユニットならびに高効率のフリーピストン冷却といった技術を使った製品を市場に投入してきました。これに加えて、自動販売機の機能高度化にもさまざまな角度から取り組み、災害救援ベンダーのような社会貢献機材、女性の感覚にもフィットする機材、より利便性の高いユニバーサルデザイン機材などを次々と投入しております。このような差別化商品と、飲料・食品・たばこのほとんどすべてをカバーする自動販売機の品ぞろえ、加えて利便性を高めた各種フードサービス機器の提供が、当社の自動化機器分野の特質です。

コールドチェーン分野では、顧客のスーパーマーケット、コンビニエンスストア業界で起こっている業界再編、業態変化に対応した柔軟かつ広範囲の営業を進めております。STPP（ストア・トータル・プラン・プロデュース）をコンセプトに、店舗設計から施工、保守サービスまでを含めたトータルの効率化を提案し、基本機材であるショーケー

スでは2005年に新しい省エネルギー型「エコマックスRシリーズ」を開発し投入しました。店舗の総合省エネルギーについても、消費電力監視や最適制御をネットワークで行う「エコマックスネットII」、コンビニエンスストア用にネットIIと最適機器を組み合わせたシステムの「エコマックスFit」、デシカント空調など先進技術を投入してきました。また、パネル工法の「エコロユニット」「ミニエコロ」「Rキューブ」は、コンビニエンスストア、カフェ、駅構内売店などの各種店舗および事務所などに導入いただき、その設置の容易性、経済性、デザイン性が好評を博しております。

通貨処理機器分野では、非接触ICカード関連の各種端末機器が、電子マネーの本格的普及期を迎えて大きく伸長しております。また、電子マネーと連携したポイントやクーポンなどのサービスも急拡大しており、この事業にも期待ができます。現金処理に関しては、スーパーマーケット業界に対し自動販売機に使用しているコインメック、ビルバリデータ技術をコアとした各種応用自動サービス機器の展開、ガソリンセルフスタンド用の小型つり銭機の開発と投入、遊技場用のコンピュータシステムと各種サービス機器の開発などにより、この通貨処理機器分野が当社事業の第三の柱に成長しつつあります。

私は、2005年6月に社長に就任致しました。前任吉増晟社長が、三洋電機自販機株式会社を当社に統合し、続いて富士電機株式会社（当時）から製造部門を吸収分割により統合した構造変革、拡大の効果を、これから余すところなく実現していくことが私の第一の使命です。第二の使命は、当社固有の技術をベースに新技術、新事業の開発を加速し、社会構造、顧客ニーズの変化に即応した事業変革を推進することと考えております。快適商空間を進化させ、お客様に最も近いパートナーとしてご期待に応えられる会社を作り上げてまいります。

本年もよろしくごお願い申し上げます。